

「データによる価値創造（Value Creation）を促進するための新たなデータマネジメントの在り方とそれを実現するためのフレームワーク（仮）」 骨子案に対する意見公募要領

令和3年7月15日  
経済産業省商務情報政策局  
サイバーセキュリティ課

1. 意見公募の趣旨・目的・背景

我が国では、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより、多様なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供し、経済的発展と社会的課題の解決を両立する超スマート社会「Society5.0」の実現を提唱しています。さらに、「Society5.0」へ向けて様々なデータの「つながり」から新たな付加価値を創出していく「Connected Industries」という概念を提唱し、その実現に向けた取組を推進しています。

サイバー空間とフィジカル空間が高度に融合した「Society5.0」、「Connected Industries」においては、データがサイバー空間を自由に流通し、多様なデータが新たなデータを生み出して付加価値を創出することが可能になります。そうしたサイバー空間のつながりにおいては、データそのものが正しいことが重要な前提であり、データがサイバー空間におけるつながりの信頼性を確保するための基点となります。

経済産業省では、令和元年7月31日に『第3層：サイバー空間におけるつながり』の信頼性確保に向けたセキュリティ対策検討タスクフォースを設置し、データの信頼性確保に求められる要件について検討を行ってきました。

データ自体に信頼性の基点を置いて包括的なセキュリティ対策を実施するためには、データのライフサイクル全体にわたってリスクを洗い出し、セキュリティ確保のための様々な措置を実施することが必要となります。そのため、上記タスクフォースでは、データを軸に置き、データのライフサイクルを通じて、データの置かれている状態を可視化してデータに対するリスクを洗い出し、そのセキュリティを確保するために必要な措置を適切なデータマネジメントによって実現することを可能とする「データによる価値創造（Value Creation）を促進するための新たなデータマネジメントの在り方とそれを実現するためのフレームワーク（仮）」の骨子案を取りまとめました。

同フレームワークでは、データマネジメントを「データの属性が場におけるイベントにより変化する過程を、データのライフサイクルを踏まえて管理すること」と定義し、「イベント（生成・取得、加工・利用、移転・提供、破棄、保管）」、

「場（各国の法令、組織の内部規則、組織間の契約など）」、「属性（カテゴリ、開示範囲、利用目的、データ管理主体、データ権利者など）」というそれぞれに影響しあう関係にある3つの要素から構成されるモデルとして整理しています。3つの要素によってデータの状態が可視化され、ステークホルダーの間で認識を共有しやすくなることによって、ステークホルダー全体での適切なデータマネジメントの実施につながることを期待しています。

同フレームワークについては、今後も詳細化等の検討を継続しますが、今回、その骨子案について、広く国民の皆様から御意見を頂きたく、以下の要領で意見の募集をいたします。忌憚のない御意見を下さいますようお願い申し上げます。

## 2. 意見公募の対象

「データによる価値創造（Value Creation）を促進するための新たなデータマネジメントの在り方とそれを実現するためのフレームワーク（仮）」 骨子案

## 3. 資料入手方法

電子政府の総合窓口（e-Gov）における掲載

## 4. 意見募集期間（意見募集開始日及び終了日）

令和3年7月15日（木）～令和3年10月11日（月）24：00 必着

## 5. 意見提出先・提出方法

電子政府の総合窓口（e-Gov）における当該の「意見提出フォーム」に御意見等を入力し、提出してください。